

放射性炭素年代測定法を用いた 中近世建築遺構の年代判定

国宝大善寺本堂, 旧土肥家本家および隠居屋住宅,
重要文化財三木家住宅

Radiocarbon Dating and Research on Historical Buildings in the Middle Ages and the Early Modern Times: Case Studies of the Daizenji Temple Main Hall, the Former Head and Branch Doi Houses, and the Miki House

中尾七重・渡辺洋子・坂本 稔・今村峯雄

NAKAO Nanae, WATANABE Yoko, SAKAMOTO Minoru and IMAMURA Mineo

①はじめに

②国宝大善寺本堂(山梨県)

③旧土肥家本家住宅・隠居屋住宅(茨城県)

④重要文化財三木家住宅(徳島県)

⑤おわりに

[論文要旨]

放射性炭素年代測定を文化財建築遺構に適用し、その有効性を明らかにした。事例として、国宝大善寺本堂、旧土肥家本家住宅、旧土肥家隠居屋住宅、重要文化財三木家住宅の年代調査結果を報告する。文化財建造物を測定する場合の部材選択や試料採取の方法を示した。部材最外層年代から建築の年代情報を得るために、部材の年代測定から建物の年代判定へ研究発展の必要性を指摘した。
【キーワード】文化財建造物、放射性炭素年代測定、国宝大善寺本堂、常陸海浜公園旧土肥家住宅、重要文化財三木家住宅